



防災対策情報便

令和6年6月号

01 防潮鉄扉操作訓練を実施します

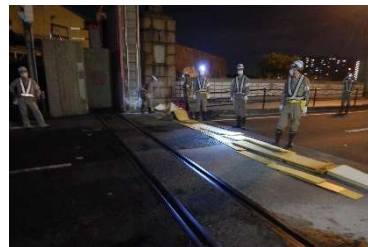
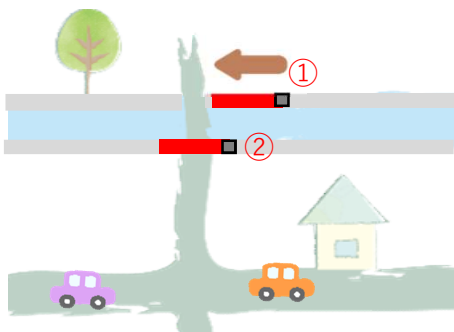
防潮鉄扉ってなに？

防潮鉄扉とは、台風による高潮等の「いざというとき」に閉鎖することで「堤防の一部」となり、水害を防ぐはたらきを持っています。

淀川・神崎川及び左門殿川にかかる橋（鉄道橋・道路橋等）には、堤防より低い橋があり、それらの橋には高潮等に備えて堤防と平行して防潮鉄扉が設置されています。

被害が想定される際には、周辺の通行規制を行ったうえで防潮鉄扉の閉鎖運転を行い、周辺地域へ水が溢れることを防止します。

鉄扉をスライドさせて閉鎖します



①閉鎖前



②閉鎖完了

防潮鉄扉操作訓練のため夜間通行止めを行います

台風シーズンに備えて、国や県、市等の28機関が連携し、防潮鉄扉操作訓練を実施します。

国道2号などの道路が通行止めになりますのでご注意ください。

夜間通行止め

日時： 7/7 (日) 午前1時頃～午前2時30分頃
場所： [国道2号] 淀川大橋・神崎大橋・左門橋
[国道43号] 伝法大橋
[大阪市道] 千船大橋・千北橋

規制内容： 車両通行止め（歩行者・自転車も通行できません）



02 台風関連情報

これから出水期（6月～10月）を迎え、梅雨前線や台風等に伴う豪雨により河川の氾濫や高潮の危険性が高まります。

台風は、地震などの災害と違い、事前に来ることが予想できる災害です。

いつ台風が接近し、雨や風が強まるのかなどの情報を事前に入手し、いち早く台風に備え、非常時の持ち出し品などの準備をしましょう。



台風が接近している間は、大雨や暴風の恐れがあるため、不要な外出を控えるようにしましょう。また、用水路や河川の見回りは大変危険です。絶対にしないようにしましょう。

早めの準備が大切！



気象台HP（尼崎市の
防災情報）はこちら ▶



03 ひょうご防災リーダー講座の募集がはじまります

兵庫県では、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的としたひょうご防災リーダー講座を実施しています。

防災分野の一流講師陣による講義に加え、避難行動訓練ゲーム、避難所設置・運営訓練、普通救命講習等のバラエティーに富んだカリキュラムを構成しています。

ひょうご防災リーダー講座

日 程 : 第1回：9月7日（土）～8日（日）
第2回：10月26日（土）～27日（日）
第3回：11月9日（土）～10日（日）
第4回：12月1日（日）

場 所 : 兵庫県立広域防災センター（三木市）

対 象 : 兵庫県在住・在勤・在学で、現在又は今後、自主防災組織で活躍され、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとされる方

募集期間 : 令和6年7月20日（土）午前10時～定員（130名）に達し次第終了

申込方法 : インターネットにて、広域防災センターの「ひょうご防災リーダー講座」のページからお申込みください。

お問合せ先：兵庫県広域防災センター

TEL：0794-87-2920 FAX：0794-87-2925

「ひょうご防災リーダー
講座」のページはこちら ▶



尼崎市防災リーダー育成講座補助金

尼崎市では、市内在住または在勤・在学の方で「ひょうご防災リーダー講座」を受講される方に対し、必要な経費への補助を行います。

対象者 尼崎市に在住または在勤、在学の者で、兵庫県が行う「ひょうご防災リーダー講座」を受講する者

補助金額 1人あたり12,000円（上限）

条件 補助を行うときは、次の条件を付するものとします。

- (1) 補助を受けた者は、市内で行われる防災訓練に積極的に参加するものとする。
- (2) 補助を受けた者は、地域の防災活動及び啓発に努めるものとする。

尼崎市防災リーダー育成講座補助金についてはこちら▶



04 マイ避難カードを作ろう！

「マイ避難カード」は、災害に備え、自分が「どこから情報を得て」「いつ」「どこに」「どのように」避難するかを事前に考えてカードにまとめた、あなた専用の避難計画です。

なぜ必要？

災害では「自分の命は自分で守る」ことが大原則。被害軽減のためには、適時適切な避難が重要となります。

災害時に「いつ」「どこに」「どのように」避難するかを判断するのは容易ではありません。

普段から災害に備えて準備しておく必要があります。事前に「マイ避難カード」を作り、避難行動に役立てましょう。

Step 1 どこから情報を得る？

尼崎市では、様々な媒体で情報発信を行っています。事前に確認し、災害時に落ち着いて情報を入手できるようにしておきましょう。



テレビ

市HP・SNS

尼崎市
防災ネット

スマホ
アプリ

電話

情報の入手について詳しくはこちら▶



Step 2 いつ避難？

避難情報は、「警戒レベル」を使って発令します。

いざという時に適切に避難できるよう、各レベルの意味を確認しておきましょう。

	警戒レベル	避難情報等	住民の皆さんがとるべき行動
高い 危険度 低い	5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
	4	避難指示	危険な場所から全員避難
	3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外も自主的に避難を
	2	注意報	自らの避難方法の確認
	1	早期注意情報	災害への心構えを高める

Step 3 どこに避難？

「避難」とは、「難」を「避」ける行動。つまり、危険を回避する行動のことを言います。避難場所へ行くべきかどうかを考え、状況に適した避難行動を選択することが大切です。

避難場所 災害の種類や状況によって、避難する場所が異なります。最寄りの指定避難場所や津波等一時避難場所を確認しておきましょう。

- 避難方法**
- 海や河川からより遠くへ移動する「水平避難」
 - 津波等一時避難場所や近隣の安全な3階以上の堅牢な建物へ移動する「垂直避難」
 - 自宅等の今いる建物内の2階以上等といった、より安全な部屋へ移動する「屋内安全確保」

知人宅に避難したり、自宅に留まる「在宅避難」も避難のひとつ！



ハザードマップで
危険な箇所をチェック ▶



Step 4 どのように避難？

避難する際は二次災害を避けるため歩いて避難しましょう。
また、災害のタイミングによって、避難場所や避難方法が変わります。複数の想定を考えておきましょう。

お風呂に入っているときかも

仕事中？
就寝中？



実際に書いてみよう！

各Stepで確認した内容をまとめて自分のマイ避難カードを作りましょう！
完成したカードは、普段から目に留まる場所に貼ったり、家族に共有しておくことが大切です。

「作成支援動画」はこちら ▶



マイ 避難 カード		
災害の種類	名前	メモ
確認！	判断材料の入手（自宅付近の何が危険？大雨や台風のとときに何を確認する？）	
いつ？	逃げるとき（何がどうなったら逃げる？）	
どこへ？	避難先（どこに？どのルートで？） 昼（明るいとき） ----- 夜（暗いとき）	
どのように？	避難する方法（誰と？歩いて？車で？） 昼（明るいとき） ----- 夜（暗いとき）	

05 防災対策情報便についてのお知らせ

これまで年12回発行していた防災対策情報便ですが、リニューアルに際し、年4回（6月・9月・12月・3月）の発行に変更いたします（ただし、臨時的かつ緊急的に発行する場合あり）。